

請願第 5 号

若葉町における新小学校建設に関しての請願書

- 1 受理年月日 平成28年6月6日
- 2 請願者 立川市若葉町3-74-14
若葉町教育問題連絡会
代表 石川 清
- 3 紹介議員 大沢 豊、永元 須摩子

4 請願の要旨

(1) 昨年、平成27年3月市議会で「けやき台小学校と若葉小学校の統合及び新学校建設に関する請願」が採択され、その後、両小学校の統合計画が進められています。この請願の文書では「校舎の耐久性、耐震性の面からも、大規模改修での市の保全計画には大きな不安が募ります」とあり、この請願を採択しながら、大規模改修を実行し続けることは、二律背反であり、納得できません。東京にいつ大地震が起きてもおかしくない現状で大規模改修を続けるのであれば、校舎の耐久性、耐震性を担保する具体的なデータの提示を求めます。

市民の不安を安心に変えることが市の責務と考えます。必要ならば、50年前のけやき台小学校の建設確認の図面並びに地盤調査などの情報公開を行ってください

(2) 平成27年3月市議会で「けやき台小学校と若葉小学校の統合及び新学校建設に関する請願」の請願者“若葉町地区学校保全計画検討委員会”は、未だ住民からの説明要求に対し、説明責任を果たすことなく現在に至っています。

市は、“若葉町地区学校保全計画検討委員会”の報告書を受けて、けやき台小学校の基本設計、実施設計に関する手続きを停止した責務があります。

提出した請願の内容について改めて、保護者、住民へ説明するように“若葉町地区学校保全計画検討委員会”に要求してください

(3) 統合対象になっているけやき台小学校と若葉小学校とも、依然としてPTA総会での論議は一度も行われておりません。また、住民説明会で教育委員会に提出されたアンケート177件の意見・質問を精査すると、圧倒的に統廃合に反対していることが明らかです。

保護者と若葉町住民の納得と合意がないままでの統合計画は即時停止し、けやき台小学校に通学する児童の安全を確保するために、至急、校舎の現状調査と改修を行ってください

5 請願の理由

若葉町教育問題連絡会は、去る5月14日（土）立川市立けやき台小学校にて、

立川市役所行政管理部施設課による“子育て世代のためのいきいきたちかわ出前講座「大規模改修のここが聞きたい！」”を開催しました。保護者を含め若葉町在住者17名が参加し、第六小学校を見学しました。昨年3月の大規模改修工事の出前講座と第九小学校の現地見学に続き2回目の学習会を開催しました。

現在立川市では、第九小学校に続き第六小学校、第八小学校と大規模改修工事が進められていますが、これらの小学校の大規模改修工事の具体的な内容を出前講座と現地見学会で知ることができました。

また、立川市で平成17年度から開始された小学校の耐震補強工事と東日本大震災後の両小学校の被害状況を踏まえ、この2回の出前講座と現地見学会から、現在、立川市で進められている小中学校の大規模改修工事で、子供たちの教育に必要な学校の安全性が確保されることが分かりました。

しかし、昨年の平成27年3月市議会で「けやき台小学校と若葉小学校の統合及び新学校建設に関する請願」が採択され、その後、両小学校の統合計画が進められています。この請願の文書では「平成27年にはけやき台小学校は創立50周年、若葉小学校は創立45周年と、校舎の耐久性、耐震性の面からも、大規模改修での市の保全計画には大きな不安が募ります。」と明文化されていますが、「出前講座」において、この採択された請願にある「大きな不安」なる内容に該当するものはまったく出てきませんでした。私たちの在住する地域から、一つの小学校がなくなるという重大な事態に対し、その根拠となる請願内容に納得ができないどころか、内容が作為的に作り上げられているのではないかという疑惑を改めて持った次第です。

現在まで、請願者の“若葉町地区学校保全計画検討委員会”の提出文書を受けて、平成26年8月の教育委員会では「その内容を受け止め」けやき台小学校の基本設計、実施設計に関する手続きを停止した経過があり、「大きな不安」という漠然とした抽象的な請願理由に対して市民への十分な説明を行わずに、大規模改修が早急に必要なけやき台小学校の工事を中止した立川市の責任は重いと考えます。

以上の経緯から、請願要旨の3項目を要求致します。